

# みんなのために 自ら進んで役に立とう

第 2700 地区

**富田 英壽** ガバナー

(甘木 R C)



私は、自分のロータリーライフの中で、地域社会の選ばれた有識者や異業種のロータリアンからいろいろなことを学ぶとともに、種々のロータリー活動を経験させていただきました。その中で、ロータリーで学んだ一番大切なことは「みんなのために自ら進んで役に立とう」ということでもあります。

私たちは、クラブのために、友人のために、家族のために、職場のみんなのために、お客さんのために、地域社会のために、世界みんなのために役に立つようにしようではありませんか、とロータリーで教えられています。ロータリアン個人、個人が日常の中で、自分で考えて、世の中のために役に立つことをしようというのが、ロータリーの奉仕の精神だと思います。

ロータリーの奉仕の理念は「Service Above Self (超我の奉仕)」であります。日本のロータリー創始者である米山梅吉氏は、「サーヴィス第一、自己第二」と訳しています。

人間は、とかく自分のことばかり考えがちであります。まず他人のことを先に考えて、自分のことはその後で考えようではないかということです。ロータリーでは個人奉仕が主体的な考え方ですから、会員の個人的傾向と、その土地の事情に最も適した行動を自分で考え、選択すればよいわけです。奉仕活動の中でも、団体で行ったほうが効果的と思われるものがあれば、それは団体奉仕で行えばよいわけです。

ロータリーで学んだこの「みんなのために自ら進んで役に立とう」という奉仕の精神を、ロータリーだけではなく他のみんなにも広げ、人の役に立つことを実践し、明るい平和な世の中にしていくことが大切でありましょう。そのためには、私どものロータリーを「基本に戻って、魅力あるロータリーに」していくことが今一番、求められています。

(耳鼻咽喉科医)